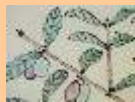


苫東環境コモンズの  
活動をまとめて報告



haskap

NEWS LETTER

～コモンズの現地から発信する～

# 勇払原野のSPIRIT

## コモンズの視線

もう9月になります、残暑お見舞い申し上げます。雨続きの夏でした。にもかかわらず、雑木林の木々はこの天候が随分お気に入りだったようで、それが林の素顔に出ていました。さて、何を書こうか、何か大きな出来事があったらどうかと考え、ぱっと思いつきませんでした。おかしいな、と備忘録代わりのホームページを開いてみて、小粒なものをびっしりとこなしていることを改めて発見しました。地域環境とじっくり取り組むというのはそういうことなんだと思います。「里山日常」です。そこで手仕事をしながら「手自然」をつくり身の回りのすべてを次第にイヤシロチに代えていく。これはなんだか人間すべてにつながる目標のようにも考えられます。

去る8月14日、苫東環境コモンズを団体会員として応援してくれた田中林業機械の田中昌宏社長がご逝去されました。こころからお悔やみ申し上げます。合掌（事務局：草薙）

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/commons00.html>

7/07sun＝薪小屋のカラマツ準備1

## 5月上旬からの活動報告

各行事末尾の数字は参加者数

5/03 fri 薪まつり（祭りのような薪作業のためこう呼称）Ⅱ

5/05 sun9:30～昼過ぎ 新しいフットパスルート開設（自由参加）3

5/12 sun 残りの薪運搬、薪割り、薪積み。林道のわだち改修（スコップ）お昼はお花見BBQ15

5/18 sat ハスカップ・サンクチュアリ下見と大島山林の薪わり 8

5/19 sun 大島山林の薪割り、薪積み

5/25 sat 春の祝祭（こころの森フォーラム8）  
山菜とクラフトのギフト@雑木林ケアセンター  
8・クラフトの講師 二橋愛次郎さん・山菜関係  
チーフ inabaさん

5/26 sun 薪割り・薪積み（薪組合を中心に、苫東ウッドーズは自由参加）8

6/01 sat ハスカップ調査（本番）3

6/02-06 国際コモンズ学会参加（山梨・富士吉田市・草薙）

6/8 sat フットパスのサインの付け替え（小屋、柏原、大島山林）3

6/9 sun 薪割り（薪組合4+4）

6/15 sat 刈り払い作業（大島、試験地、）8

6/19 wed 理事会@北海道開発協会ライブ러리 5

6/21fri 6/22sat 視察研修旅行・旭川方面 5

6/29 sat 「ささみちフットパスなど刈り払い」  
&薪小屋企画制作着手 3 \*事務局；am北の森林と健康ネットワーク総会@札幌、pm1:15 きたネット現地案内（コープさっぽろ関連）→展望台、小屋に案内 計3

7/06sat＝風倒自然復元地の林道、大島山林の薪まわり、テーブルまわり 3

7/13 sat 柏原フットパスの刈り払い、静川の自然復元モデル林道、豊川ショートカット刈り払い 7

7/20 sat NPOメンバーのハスカップ摘み 28

7/27 sat am10:00「コープさっぽろ」一行大島 山林視察～鶴川で作業（草薙）

8/03 sat 大島山林集合。フットパスの刈り払い、薪のシート架け 5

8/10 sat 小屋集合（刈り払いは、ささみちなどフットパス、小屋周り）13:30 運営委員会@小屋7名

8/24 sat 小屋に集合し、①柏原のフットパスにサイン付け替え ②アイリス公園の看板根元の立て札補修 ③つた森ルート刈り払い 4

## TOPIC 1

この冬の間伐で12軒分の薪生まれる



24年11月から25年3月末まで行った大島山林の今季の除間伐は、その後、林の中から広場に運搬し玉切りしたり割ったりの人力作業を重ね6月中旬にすべての薪割りを終了。その後、積み上げてみておよそ24棚が産出されたことが判明。薪ストーブ利用者は一冬6ヶ月で2棚使用しますから約12軒分のエネルギーを除間伐の副産物

として作り出したこととなります。稼働した延べ人数を数えてみると約 230 人でした。薪は稼働日数に応じてメンバーに分配し、一部分譲ります。価格は相談に応じますが原則現地引取り。



## TOPIC 2

### GPSを用いたハスカップ調査第1弾

昨年、ハスカップのサンクチュアリを設定したのに続いて今季は原野のハスカップの枯死状況を



GPSで調査しました(図は50m四方の結果)。予想通りの結果でいろいろな処方箋を考えていく

きっかけと話題提供に役立ちそう。これを契機に、「ハスカップとわたし」プロジェクトをスタート。勇払原野界隈で取り組まれてきた『人とハスカップの付き合い』をインタビューや座談会などで記録していく試み。これらはコココーラさんの助成支援を受けています。

## TOPIC 3

### 旭川で森林の総合的な扱いについて研修 ～NPOもりネット～

今年初めてスタッフの研修旅行を実施しました。「コープさっぽろ」さんからの活動助成の一部を充当しました。研修先は、伐木から林道整備までの実力をもつNPOもりネットさん、対応してくれたのは山本牧さん。突硝山の指定管理者として山林の取り扱いについて合意形成をはかっている手法の「ゆるやかさ」は見事。こうあらねばならない、などという固定観念を捨てて、運営



協議会で方向を決めて、そのままの林で余計なことをせず、危険防止の際にのみ伐採をするという方針。どこか、苫東コモンズとも似ていなくもありませんが、もりネットは壊れにくい本格的な林道作りもてがけ、その道の先駆的な実践をしています。この秋、苫東コモンズは簡単な薪小屋を作りますが、その原型ともなるべき簡素な薪小屋モデルも見せてもらいました。

## TOPIC 4

### 国際コモンズ学会とコモンズ関係出版

6月上旬、富士山の世界遺産決定でわく富士吉田市で国際コモンズ学会が開催され、開発協会のコモンズ研究会の業務の一環として事務局・草薙が参加しました。次善に提出した英文アブストラクトが米デューク大学のM・マッキーン教授の目に止まり英文フル原稿と発表を薦められましたが、時間切れで参加だけに。コモンズは世界各地に偏在し地域課題解決の重要なファクターであること、またわたしたちのコモンズは十分発信力を持つことを実感しました。(写真は川口湖畔の旅館で同宿だったエチオピアとメキシコ、そして関西の研究者と共に)



表を薦められましたが、時間切れで参加だけに。コモンズは世界各地に偏在し地域課題解決の重要なファクターであること、またわたしたちのコモンズは十分発信力を持つことを実感しました。(写真は川口湖畔の旅館で同宿だったエチオピアとメキシコ、そして関西の研究者と共に)

一方、開発協会のコモンズ研究会は、NPOと研究会双方の取り組みをまとめ若干の分析を加えたコモンズに関する提言を出版する予定で準備が進められています。早ければ年明け早々に書店販売される見込み。2編は草薙が当NPOの事例を詳述しています。

## 編集後記

■以前から気になっていたロケットストーブを作ってみました。新刊「里山資本主義」のエコストーブに触発されたものです。HPにも書きましたが、木質燃料の火力と瞬発力を再発見しました。ほんのわずかな材料で十分煮炊きができるこの持続可能エネルギーをただ「腐らす」ことの罪を知るようになります。オススメ。



■ハスカップヒアリングが静かに進行中。1番手は苫東会社で40年ほど前にハスカップ移植とジャム生産を手がけた当時のA専務。90歳を超えられてなおカクシャクとしたお話をされました。もうお一方は厚真のハスカップファーム山口農園の山口善紀さん。年度末までに、北大の花卉園芸の研究者等を交えた企画とあわせ、ハスカップの忘れ去られた一面に肉迫できそうです。

■今日9/7夜、遠浅自治会の幹部の方々とお話の懇談。コミュニティ林業と山林整備が新しい段階に入ります。詳細はHPを。(事務局)

お問い合わせ

NPO法人苫東環境コモンズ 事務局

草薙 [kt-884-556@nifty.com](mailto:kt-884-556@nifty.com)

携帯 090-6999-2765